



# HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	編集後記
Author(s)	逸見, 勝亮
Citation	北海道大学大学文書館年報, 4, [181]-[181]
Issue Date	2009-03-31
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/43761">https://hdl.handle.net/2115/43761</a>
Type	other
File Information	4_181.pdf



〔編集後記〕

◇『北大時報』(2008年1月～12月)に掲載した大学文書館関係記事は16件、そのうち北海道大学沿革史にかかわる資料収集記事が11件であった。収集資料の白眉は、個々の教員の息づかいさえ感じ取れる農学部資料である。従来の沿革史は書き換えられるだろう。

◇2009年1月には、御遺族から堀内壽郎元学長旧蔵資料を頂戴した。研究ノートからは、学長の苦悩、学者のほとぼしる熱情を窺うことができる。

◇2008年(1月～12月)の大学文書館利用状況は、大学資料(沿革史料・学術資料・在籍者)に関する問い合わせが193件(2007年は127件、2006年は61件)、閲覧者は162名(2007年は29人、2006年は閲覧は未実施)、視察は27件・78人(2007年は10件・35人、2006年は8件・16人)と多い。問い合わせは2日に1件であるが、文書資料・文献を繰って回答を整えるのに右から左というわけにはいかない。

◇佐藤昌介旧蔵資料寄贈の御礼を言上すべく、6月のある日、初代総長佐藤昌介の孫にあたる佐藤ユリ氏(佐藤昌彦・カツミ夫妻養女)宅を訪うた。大振りの華麗な茶碗で御薄を御馳走になった。応接間には大らかで重厚な昌介像(1912年油彩)が架かっている。描いたのは有島武郎の弟生馬である。昌介と武郎の厚情を改めて思った。

◇8月25日、Akiko Keene氏来館記念に「佐藤昌介・川江秀夫展」を特別開催した。Akiko Keene氏は、川江秀夫(札幌農学校工学科第5期生、1895年卒)と千代(佐藤昌介長女)の三女マリの御息女である。佐藤昌介の愛弟子で、『佐藤昌介』(川崎書店新社、1956年)を著した中島九郎の御息女である越山澄子氏と御家族を御招きした。北大の歴史に連なる人々が、中島九郎宛川江秀夫書簡(越山澄子氏寄贈資料)の前で初めて会ったのである。

◇大学文書館職員は、資料を提供してくださった方々へ、折にふれてその後の利用状況や新たな収蔵資料などを便りしている。一緒に添えた中央ローンや藻岩山の写真が喜ばれている。「今の北大」を伝えるには小振りに過ぎるが、北海道大学にかかわった人々と大学文書館との交流は濃密さを増している。

(逸見)

---

北海道大学大学文書館年報 第4号

---

2009年3月31日発行

編集・発行 北海道大学大学文書館

〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目

電話 011-706-2395 (FAX 兼)

印刷 岩橋印刷株式会社

---